

運営推進会議における評価【令和5年度】

【事業所概要】

法人名	社会医療法人社団 三思会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護事業いわしくも
所在地	神奈川県厚木市戸室1丁目29番1号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

医療・介護・福祉全体の関わりを必要とする方が、住み慣れた地域・ご自宅での生活を継続できるよう、「訪問看護」・「訪問介護」・「通い」・「泊り」の4つの居宅サービスを事業所専任の介護支援専門員が、利用者・家族の意見を聴取したうえで「包括的」に組み合わせ、「なじみの職員」が一体的に提供する。
訪問看護ステーションもみじと一体型の運営をしており、24時間の緊急時対応や医療ケアの必要な方、在宅看取り等さまざまな心身状況の方への対応が可能。また、登録者以外のご利用者や障がいがある方の受け入れ、医療保険対応の訪問看護も実施している。

訪問看護・訪問介護の積極的な実施により、利用者や家族との関わりの中で希望や意見を情報共有し、ご自宅での24時間の生活を想定したサービス提供の充実を目指している。

職員は、認知症ケア実践者研修などにも計画的に参加し、認知症がある方の対応が可能である。

事業所は、介護職の特定行為が実施可能な認可を受けている。さらに、摂食嚥下訓練に特化した看護師の指導の下、摂食嚥下訓練、特別食対応も行う事が出来る。

ご利用者の生活視点でケアプランや看護・介護計画、手順書を作成し、多職種で行う総合マネジメントカンファレンスをベースとした評価・修正をこまめに行っており、個別性を踏まえた看護・介護を実践している

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	令和5年11月13日	従業者自己評価 実施人数	19人 ※管理者を含む
----------------	------------	-----------------	-------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日令和 年 月 日	出席者人数	(合計)	人 ※自事業所職員を含む
出席者	<input type="checkbox"/> 自事業職員 (人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (人) <input type="checkbox"/> 地域住民代表 (人) <input type="checkbox"/> 利用者 および利用者家族 (人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (人) <input type="checkbox"/> その他 (人)		

■ 評価の結果「できている」と感じた点や、日頃から特に力を入れている点

- ・介護職員の定着が進み、利用者様、ご家族の生活の意向にそった支援が増えてきており個々のADL・QOLの維持を目指し定期的にカンファレンスを行い利用者様の状況を他職種と共有している。
- ・在宅支援・看護多機能の役割を実践できるよう勉強会を行い職員のレベルアップを行っている。
- ・法人内外部における研修への参加が増え職員自身のスキルアップへのモチベーションが上がってきている。
- ・職員間での意見交換がしやすくなってきているため、カンファレンスの回数も増え、お互いの考えを受け入れかみ砕き実践に持ち込み行えている。
- ・終末期ケアは、看護師が介護職に分かりやすく説明しご家族、利用者様の意向を指導してくれている。
- ・運営推進委員会で、出されていた意見について職員が周知し、改善できるところは取り組んでいる。
- ・災害対策など、職員全員が周知し、行動できるように訓練に参加したり口頭で確認業務を行ったりしている。また台風などの時も全員どの様に行動するか勉強している。
- ・全体的に看護師、介護福祉士の情報共有がしっかりしてきているので、お互いに助け合って利用者様・ご家族様に満足いただける様に取り組む姿勢が強くなっている。

■ 評価の結果、「できていない」と感じた点と、改善に向けた取組案

- ・介護職員の定着を目指している途中である。入社間もない職員が、看多機の特徴を理解し、スムーズに業務が遂行できる環境をさらに整えていく必要がある。そのうえで、宿泊希望の受け入れをさらに拡大していく。また、利用者一人ひとりへの個別性のある支援が、利用者や家族の体調や生活の変化に応じた支援となるよう、支援計画の更新や実施をしていく。
- ・介護職員間だけでなく、他職種との情報共有の場を設ける取組みを強化し、個別ケアを念頭においた支援内容を適宜更新、実践できるようにしていく。レクリエーションやリハビリをできる機会を増やしていきたい。
- ・法人内外部における研修への参加を促し、認知症への取り組みや喀痰吸引資格取得による医療ニーズの高い利用者を受け入れる体制のさらなる強化、事業所全体としてのスキルアップを目指す。
- ・コロナ禍で地域交流はほぼ出来ていない。感染対策をした上でどう発信していくか要検討。サービスだけでは支援の限界があるが、それを補う地域資源や家族介護力への働きかけや協働が弱いので、今後強化していきたい。また、近隣地域や厚木市の行事・取り組みにも参加できるようにしていく必要がある。

■ 評価表 [従業員等→事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	<p>○サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている</p>	8	11	0	0	<p>・「いわしぐも」の基本理念に沿った形で、具体的な活動がなされており、努力がみられます。よくできていると思います。</p> <p>・基本理念に基づいて努力され取り組まれていると思います。</p> <p>・職員一人一人がいわしぐもの特徴を理解されて以前よりお仕事されていると思います。</p> <p>・要介護者は段々と医療ニーズが高まる場合が多いと思うが、各段階に合わせてのサービスがよくできている。安心感がある。</p>	<p>✓①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <p><いわしぐも基本理念></p> <p>「暮らし・つながり・その人らしさを大切にする在宅総合サービス」</p> <p><支援方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安楽な生涯を通し「暮らし」を支える自立支援 ・人権を尊重し、その人らしい人生を全うできるように支援する ・家族・地域社会と「ふれあい」「つながり」できる環境づくり ・地域に愛され信頼され親しまれるケアサービスの提供 ・スタッフ一人一人が自己研鑽し、楽しく元気に働く職場開設当初から掲げられている理念には上記が網羅されている <p>・利用者様のご都合にあわせて、宿泊、訪問介護、訪問看護、通いの対応が可能な範囲で出来ている。</p> <p>・訪問看護と連携して医療ニーズの高い方を対象にして対応。在宅看取りも行い、対象者家族の介護疲労や、急な慶弔にも泊まりをして、対応出来ている。困難事例には、地域包括に相談して協力を得ている。</p> <p>・定期的なモニタリングを行い個々の家庭の事情に、寄り添った支援を目指している。要望に沿って支援を計画、本人と家族のニーズに合わせた在宅ケアから、家族に見守られながらの看取りの取り組みを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様やその家族の負担を軽減する事を行えている。 ・地域密着型としての理念を掲げて、必要に応じてのサービス提供をしている ・地域包括ケアはまだ取り組めていない 						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
2	<p>○サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している</p>	6	11	0	0	<p>・マニュアルに基づき、入職時にオリエンテーション等で説明がなされ、実践の場で上司、先輩からその都度指導等がなされています。入職間もない職員の方には自己研鑽に励んでもらいたい。</p> <p>・マニュアルや様々なカンファレンスを通して育成計画が進んでいると思います。</p> <p>・看多機の機能を理解された上でケアを提供されて取り組まれていると思います、新人の方々も定着されていると思います。</p> <p>・職員の皆さんの利用者に対する情報共有がよくされているとおもう。</p>	<p>✓「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</p> <p>✓すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</p> <p>✓育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</p>
	<p>○サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している</p>						

【具体的な状況・取組内容】

- ・マニュアルや資料を活用し、理解に努めている。
- ・新人教育など力を入れ勉強会を開いたり、個々で勉強したり助け合いながら取り組んでいる。
- ・利用者や家族に寄り添う形で行えている。
- ・通いフロアに大きく掲示されており、内容を理解できるようになった。日々目にはいる事により、より実践しやすくなった。入社時に管理者から説明がある。
- ・地域密着型のサービスとして、回数に縛られない訪問介護サービス・訪問看護サービス提供
- ・介護として出来るケアを理解し、研修や看取りケアを通じて、看多機に求められていることを理解してきている。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	8	10	1	0	<p>・ 職員のスキルアップは、日頃の意識が大事。職員とのコミュニケーションは、人間関係にもつながり、当たり前と思うことが、意外となされないことが多い。普段の人間関係にも気を使う必要があると思います。</p> <p>・ 研修等に積極的に参加されています、引き続き業務に必要な研修が受けられると思います。職員のスキルアップは必要だと思いますが日常のコミュニケーションはそれ以上に必要不可欠かと思えます。</p> <p>・ 家族の立場として、皆さんがしっかりとした専門技術を持っていると思う。</p>	<p>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>〔具体的な状況・取組内容〕</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回の会議と空いた時間にカンファレンスを開き情報共有している ・ 年2回の人事考課にて、目標や達成の為に勉強会に参加している。 ・ 育成マニュアル、プリセプター制度、教育・研修係を充足し育成チームによる進捗状況を定期的な確認、評価を行なっている ・ 利用者様対応に、協力相談して取り組んでいる。 ・ 1人1人に合った育成計画ではない ・ 新入職に対し、教育担当を中心に職員全体で育成への関りをもつことができ始めている。全体として、個々に合わせた育成計画の作成にはまだ課題が残る 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足	
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない			
4	○法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外の機会を確保している	12	6	1	0	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望に沿った研修を相談の上に育成面談や資格取得の為に計画的に研修参加している。研修を定期的に順番に受けている ・様々な研修の告知、更に実際研修を職員が受けています。 ・実務者研修、認知症研修など学べる機会がある。機会を見て研修に参加できる職員が多くなっている。 ・外部研修の参加、施設内でも研修を行い自発的に参加出来ている。 ・参加できなかった研修の資料や動画を閲覧することができる。 ・法人研修は一部は出来てますが、全体としてはあまり出来てないように感じられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行している中で研修機会を設けるのは大変と思いますが、職員のスキルアップにもつながります。新人研修の機会を確保され実践されていると見受けられます。今後のスキルアップの為に進めていってください。職員のやる気につながると思います。 ・定期的な研修計画にそって取り組まれていると思います。 ・職員のモチベーション向上につながりますので大切だと思います。 ・家族の立場として、良くできていると思う。 	<p>✓「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</p>
番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足	
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない			
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保								
5	○介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	9	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務をこなしていく中で、意見交換がうまくできているのではないですか。普段の会話も大事だと思います。 ・定期的なカンファレンスや意見交換をして情報は共有されていると思います。 ・他職種の連携が可能なのが看多機の良いところだと思いますので実施して頂きたいです。 ・家族が参加しての担当者会議もあり、各専門職間の情報共有が実によくできている。 	<p>✓「情報を共有する機会」の充足度を評価します</p> <p>✓例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</p>	
		【具体的な状況・取組内容】						
		定期的な利用者カンファレンスの開催し担当者会議の実施している						
		<ul style="list-style-type: none"> ・他職種でも声がかけやすい環境にあり、相談や意見交換をして情報共有している。 ・対応が、必要な時お互いに、聞いたり伝えている。 ・情報共有や報・連・相を積極的にこなしている ・職員間のコミュニケーションを大切に多職種連携がうまく出来る方だと思います。 ・朝の申し送り、カンファレンス、ケアカルテで情報共有が行えている ・カンファレンスを行なうように心がけているが、担当看護師の参加が勤務形態の違いにより難しい状況にあり、定期開催まで至っていないことが課題である。 						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

(3) 組織体制の構築

① 運営推進会議で得られた意見等の反映

番号	評価項目	6	11	2	0	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
6	○運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進で出た意見で、必要であれば即時に反映し支援の見直しをしてサービス提供を行っている。 ・事業所の会議内で共有し現場で実践している ・会議の中で助言を頂けたものに関しては、会議録として職員全員が目を通して、情報共有し検討を行なっている。介護職員の会議への参加が全員出来ていないため、参加できるようにしていく。 ・泊まり受け入れ態勢の要望に関しては反映できたが、会議の運営がまだまだ報告中心になってしまっており、支援の変更が適宜ある、問題点を明確にし、活かしている ・要望・助言を話し合う場までになっていない。 ・運営推進会議に参加したことがないためわからない。 				<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを見る限りでは、うまくサービス提供がなされていると思います。 ・ご家族からの要望は真しに取り組まれていると思います。 ・会議は様々な立場の人の参加があり、有益だと思うが、それ故 要望、助言等が具体的に足りずらいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

① 運営推進会議で得られた意見等の反映

番号	評価項目	11	8	0	0	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
7	○職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント対策など本部へ匿名で伝達可能 ・福利厚生がしっかりしていて労働時間、休暇は守られている。年休消化、夏、冬休みがとれる。残業も少なく、有給取得率も高い。 ・希望休は取れており、研修参加や状況に合わせた特別の業務も集中してできるよう配慮してもらっている。 ・上司の配慮を感じ先輩は後輩をよく指導している、残業が少なく職員同士で協力出来ているお互い助け合い、声掛けし、仕事に取り組んでいる。 ・長期連休取得、またワークライフバランスを大切に休暇をとりやすい環境でとても満足しています。 ・欠勤者がいても、リハビリ出来る職場環境。親の介護、子育て、体調不良などスタッフ間でフォローする環境になっていて働きやすい 				<ul style="list-style-type: none"> ・福利厚生等に力を入れていると思われ、大変良いと思います。しかし、職員の増を望む声もアンケートの中にはありましたので、働く関係ではきつい面もあるのではないかと想像します。 ・カンファレンス、PC記録などで迅速に共有されています。 ・就業環境も良いと思われますのでこれからも継続頂きたいです。 ・就業環境の整備があつてこそ、利用者や家族の満足度につながるとおもうので、その努力を大いに評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	9	9	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特に、意識をもって取り組んでいられるようです。言葉だけでなく、介護記録システムも充実されていると聞き、感心しました。メモを取ることが大事だと思います。 ・ヒヤリハット・事故報告書などに基づいて具体的な対応をされていると思います。 ・努力されていると思います。 ・家族の立場から、とてもよくできている 	<p>✓「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼での申し送り、カンファレンス、PC記録、利用者ファイルを活用できている。職員同士でのコミュニケーションで情報共有されている。 ・体調や環境の変化に伴い、カンファレンスを行い情報の更新ができている。 ・フェイスシートでの情報共有、ケアマネジャーからの情報共有。介護計画に沿った評価を行っている。 ・連絡、相談、報告、互いにし細かな情報共有が出来ており、ケアカルテに記録出来ている ・月1で会議を行い、空いた時間にカンファレンスを行っている ・口頭での連絡はもちろん、ケアカルテや利用者ファイルの変更も迅速に行われている。 ・更新しても、読まない人もいるため情報錯誤が生じることがある 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	7	11	1	0	<p>・マニュアルは整備されており、しっかり確認しながら実行されていることが伺われます。一人だけでなく複数の方のチェック体制も心掛けて見受けられます。しかし、口頭だけだとなかなかうまく伝わるものも、言った、聞いてないでトラブルのもとになりますので、しっかり記録はとって共有する必要があります。</p> <p>・ヒヤリハット事故報告書などに基づいて具体的な対応をされていると思います。</p> <p>・努力され実施されていると思います。</p> <p>・コロナ感染対策を通じて、厳密に安全の確保が行われていると知り、安心するとともに感心した。</p>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者対応手順書の使用、必要に応じて二人介助を行うなど双方の安全に努めている。 ・事故や緊急性のある場合の連絡網の作成、個人情報の開示、緊急時のフローチャートの掲示がされている。 ・スタンダードプリコーションや、緊急時の流れを掲示している。コロナ中、換気したり、気を配っている。守秘義務も守られており、利用者や職員の身体的な安全も守られています。 ・ヒヤリハット・事故・苦情報告書に基づきカンファレンスを行ない、具体的な対策を講じる機会は確保されている。職員の安全確保に関しての具体的な対策は相談・報告にて講じられている。 ・定期的に研修が行われている。介護士の出来る出来ないを無くす様に先輩職員が同行したりしている ・1人1人の対応が違うため分からないことがある 						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	8	7	4	0	<p>・マニュアルができていても、それに従った行動はなかなかうまくいかないものです。それぞれ違った解釈で動くとなかなか統制がとれないものです。普段の訓練が日常業務に追われ難しいとは思いますが、いろいろ工夫して情報を得たなかで考えて下さい。</p> <p>・年2回の防災訓練と緊急時のマニュアルの掲示等で備えの対策は出来ていると思います。</p> <p>・努力されていると思いますが見直しや改善も必要かと思えます。</p> <p>・努力されている</p>	<p>✓「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>
	<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時のマニュアル、フローチャートが職員の目に見えるよう掲示され口頭での説明もありよくできていると思います。 ・災害時BCP策定、避難訓練や研修があり今後具体的な対応方針が共有できると考える。通い宿泊時の対策はマザーホーム全体として対応方針があり、現状は管理者を中心に共有されている。 ・台風前など、何処からがボーダーラインになるのか掲示している、台風接近時の避難ベッドの確保や、土嚢の準備など ・分からないことがある。入社したばかりで、防災訓練等に参加していないためわからない ・防災訓練を年2回実施しているが、情報共有や認識が明確でない為、夜勤時不安材料 						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	6	12	1	0	<p>・難しい問題です。その家庭にも深く入っていくことなので、十分信頼関係を築いたなかで取り組んでください。特に家族の理解と協力が得られれば良いと思います。</p> <p>・勉強会やカンファレンスで情報が共有され家族への対策はとられていると思います。</p> <p>・家族を含めた暮らし全体で個々の事ですので満足度とは難しいですが良く対応されていると思います。</p> <p>・緊急の際にも迅速にケアプラン等を変更し対応してもらえた。家族、利用者の状況を良く理解している。</p>	<p>✓「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</p> <p>✓ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</p>
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間の暮らし、全体に着目した支援への取り組みは、勉強会や看多機の機能の説明、カンファレンス時に共有できるよう声かけをしているが、定着していくには時間が必要。 ・家族の連絡先は必ず記載あり、対策はとられている。また、酸素が必要な方に関しては、ボンベの確認と切り替えは常時確認。 ・緊急時の対応が素早くできるようスケジュールを変更対応できている ・ご家族やご本人からの情報、また介護士や看護師が実際に関わり得た情報を元にアセスメント ・ケアプラン第3表を基に家族の日常生活も曜日単位で聞き取り、アセスメントし、共有できるようにしている。 ・利用者様のご家族様の状況も含めての宿泊などの柔軟な対応ができているが分からない時間帯がある 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足		
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない				
12	○介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	5	10	4	0	<p>・お互い専門職の中であるべく垣根をつくらず、取り組めるとうまくいくものです。福祉部門は医療と同じように介護、看護と専門家してしまっているため、大変だと思います（情報の共有は理解できますが、皆さんが同じ時間、同じ日に揃っているわけではないでしょうから支援体制構築をしっかりと確率してください）。</p> <p>・定期的カンファレンスや記録システムがしっかりできれば情報共有がうまくいくと思います（現に、うまくいっているとは思いますが。）</p> <p>・担当者会議など情報は共有されていますが今後もより良い情報共有ができるように取り組んでほしいと思います。</p> <p>・家族を安心して預けられる一番大切な事だと思いますので重要な項目だと思います。</p> <p>・実によく情報共有できている。</p>	<p>✓「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</p>		
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議の開催、必要時に介護と看護の共同カンファレンスが行われケアカルテに記録、口頭での情報共有できている。 ・介護職は介護計画に沿った評価、看護師は、看護計画に沿った評価を行っている。 ・専門性の高い事わからないが介護士にわかるよう話してくれる。 ・急変やADL低下時お互いの対応状況報告が遅れることがある ・カンファレンスがあるが全員参加出来るわけではなく詳しく伝えられないこともある ・必要に応じて共有することはあるが、全利用者でアセスメントの結果を共有するまではできていない。看護アセスメント結果・介護支援計画を双方とも確認できるツールが確立していない。 							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		8	11	0	0		
13	○家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている					<ul style="list-style-type: none"> ご家族へのモニタリングでその後の担当会議で情報が共有されて取り組まれてご家族の方も大方満足されています。 実施されています。 利用者の状況、家族の不安などよく聞きとって具体的なケアプランをつくってくれ、非常に安心感がある。問題を迅速に解決してくれる。 介護を受けている方は、普段から情報を共有して計画等は作成されていると思います。介護している家族の気持ちも汲んだ、計画等の作成に努力してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
14	○利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	5	13	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用者個々の計画にそって進められています。 努力頂いています（が、未だリハビリスタッフ参加なし） 利用者の心身機能の変化に応じた計画が作られている。 自己評価に書かれているように現状を認識し、そのなかでレクリエーション等を通して意欲の回復や興味を持てる企画を汲んだ取り組みに対して評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		

③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成

15	○利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	4	12	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・看護計画、介護計画で対策が取られていると思います。 ・変化に応じて対策が取れていると思います。 ・主治医や変化する利用者の状態の情報を共有できていると思いますが利用者への情報提供も大切だと思います。 ・家族の立場から、よくできていて安心する。 ・各セクションの中で十分、情報の共有はなされているようですので、看護の面でどう対処していくかの取り組みが課題となるでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に状況変化リスク管理が示されている。 ・利用者様によっては報告が必要なバイタル値の設定がされている。 ・急な体調の急変等も考えて計画されていると思います。 ・看護計画や介護計画に立案している対応策も情報共有されている。 ・ケアマネ、看護師から対応策を情報共有されている。 ・疾患の特徴や経過を考慮し計画している。リスク管理に重きが取られやすいので、予測・リスク管理を踏まえながらも意向実現できるように配慮している。 ・自宅での環境整備がされていない所がある 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		

(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践

① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映

16	○サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	9	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・実施されている。 ・利用者の少しの変化や状況も家族に報告されるので安心、よくできている。 ・しっかり対応されていると思います。 ・利用者の状況変化に対し、常に聞き取りをされ対応されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・状況把握を早期に行い、変化に応じて計画反映が行われている。 ・ケアプランの変更、手順書、支援内容が適宜行えている。 ・臨時カンファレンスをする事が増えてきた。 ・状態変化や予測される状態は、新規受け入れ時に話し合いをしている。医師を含めて予測される事は、最初に話される。 ・ちょっとした変化での報告等でカンファレンスが行われ、都度変更がなされています。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		

② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映

番号	評価項目	5	13	1	0	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
17	○通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーがモニタリングで家族の意向を聞き、受け入れている。 家族の疲労や農繁期に合わせての希望を取り入れている。 ・自宅での変化をご本人やご家族から情報提供して頂き、変化がないかを都度確認し、報告している。 ・利用者の状況を記録に残してそれを元に毎月、随時変更してサービス提供に心がけている ・介入すべき大事なところを抜粋して訪問している ・訪問介護介入のない利用者もいるが、モニタリング・訪問看護での生活状況の変化を継続的に把握するように努め、介護職にも共有できるようにしている。 ・利用者様の希望で通いと宿泊だけって方もいるので訪問が出来ない方もいて、だいぶ偏りはあると思います。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネによるモニタリングで状況変化に対応できていると思います。 ・現状の生活にその都度対応頂けていると思います、理解頂けてます。 ・利用者の生活状況をよく理解してもらっている。家族、利用者の状況の変化を報告しやすい雰囲気がある。 ・利用者の状況を把握され、対応されていると思います。 ・個々の状況に応じて、生活状況の把握がされていて、随時計画がされていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		

③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有

番号	評価項目	6	11	2	0	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
18	○利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・主治医との情報共有している。状態変化は必ず連絡し、必要な時は、往診してもらっている。 ・様々な職種に連絡を取り、情報を共有出来ていると思います。 ・ケアカルテ上での訪問看護、訪問介護の記録や、申し送りから情報共有が出来ている ・状況変化や近況については情報共有を行なっているが、目標達成状況についてはできていないことが多い。 ・サマリーなどの情報のありがたさが分かりづらく、理解しづらい。 ・上手く伝わらなかつたり、記録が少ない時がある。 				<ul style="list-style-type: none"> ・主治医、ケアカルテを通して情報共有されていると思います。 ・主治医などと情報共有されており実行されていると思います。 ・よくできている ・マザーホームの施設は、東名厚木病院と連携されているので、その点では安心して預けられる良い環境にあります。いざというときの対応は、万全と思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供

① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供

番号	評価項目	5	11	3	0	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
19	○介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的な所は、看護師が行い、介護職は生活面を中心として関わっている。熱があったり、生命に危険がある場合の報告、連絡はきちんと出来ている。 ・医療ケアが必要時には看護師に依頼するが、指示書があれば介護でも行えることは実施している ・介護と看護での分業と、専門性を活かし過不足なくサービス提供をしている。 ・医療ニーズの高い利用者が多いため医療的ケアも増えるが、看護職による薬剤調整と介護職による日々の関わりの工夫と分担し関わることができるようになってきている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの専門性を活かして対応されています。 ・実行されていると思います。 ・家族としては、介護と看護の分担がわかりづらく適した依頼が難しいが、連絡、調整の上適したサービスが提供されている。 ・看護、介護、医療といった役割分担のなかで、うまく機能されていると思います。医療面との連携は特に大事ですが基本は、看護と介護の日常分野だと思います。十分できていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
20	○利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	6	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・共通パソコンで情報共有されています。 ・良く実行されていると思います。 ・よくできている ・十分連携が行われています。職員の意識が高く、何が必要か、何が不十分かなどを常に考え実施していることが伺える。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		

② 看護職から介護職への情報提供および提案

番号	評価項目	10	8	0	1	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		21	○看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	[具体的な状況・取組内容] ・担当の看護情報PC記録に共有できていて、ちょうじゅに、根拠あるケアを提示していただいている、必要に応じてカンファレンスを行っている。 ・訪問看護師が24時間体制で緊急対応しているので、昼間の状態などから予測される状態にはあらかじめ対応策が提示されている。 ・利用者ファイルに記載されている。またはケアカルテで情報共有 ・訪看での内容を聞き取り状況把握、話し合いを行い、今どんな支援が必要か話し合っている ・担当の看護師・介護職により差があると感じる。			

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		

(4) 利用者等との情報及び意識の共有

① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供

番号	評価項目	8	11	0	0	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		22	○サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	[具体的な状況・取組内容] ・契約前に説明し、理解を得ている。ケアプランに関して同意をもらう前に説明し理解を得るように心がけている。 ・ケアマネ・管理者が通い、泊まり、看護、介護のサービスを利用出来る事は、パンフレットを利用して説明している。看多機の特徴や性質を説明してくれている。 ・利用者様からのサービスについての質問があればお答えしている ・利用者、家族に説明し理解を得られている。			

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	8	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい丁寧な説明がされていると思います。 ・看多機は他の施設とは異なり、難しいですが実行されています。 ・都度説明があり、理解している。 ・専門職員の方からの説明や利用者、家族などと十分コミュニケーションがとられており、うまく機能していると思います。 	✓「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		事業所自己評価					
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
24	○利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	10	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅でのケアができるように画像を通してのわかりやすい説明もできていると思います。 ・看多機は他の施設とは異なり、難しいですが実行されています。 ・よくできていると思う。 ・利用者等への理解については、一番大事なところであり、大変だとは思いますが、今まで通り丁寧な対応をお願いします。 ・訪問看護師が同行したり、口頭や連絡帳、手順書を作成したり丁寧に説明されていると思います。 	✓「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		事業所自己評価					
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

【具体的な状況・取組内容】

- ・担当者と会議で居宅計画に伴い利用者の意向を反映している。
- ・利用者様対応に、わからない時など、持ち帰り相談し、フィードバックしている。
- ・看護師や介護士からわかりやすい様に説明していると思います。
- ・認知がある方に関してはご家族様によく理解して頂いてます
- ・ケアマネよりモニタリング時に説明や提案を行ない、理解を得られるようにしている。
- ・自宅でのケアを指導、介助できている

【具体的な状況・取組内容】

- ・在宅になる時点において、利用者、家族が病院からある程度、技術習得しているため、それにそって在宅でやれるような方法を支援している。利用者自身ができる事、出来ない事を理解されている。
- ・家族指導に関しては看護・介護とも専門性を基に行なっている。指導した内容を家族が取り入れていることが多いため、理解は得られていると考える。ストマケアなど、画像でわかりやすく説明し、理解を得ている。
- ・事故や危険な行為等、そういった事が起きない様、説明出来ていると思います。
- ・自分で酸素切り替えたりしている利用者様もいるので出来てると思います。
- ・入職して間もないため、利用者様の家族様に説明をしたことがないので、わからない。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	9	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネによるモニタリングで希望に沿った計画がされていると思います。 日常からコミュニケーションを家族と取って頂き実行される。 現在でも十分にサービスを提供頂いているが重度化した場合や終末期も継続してサービスが受けられる事は大変に心強い。 大変難しい状況にある方々ですので、家族はもちろんのこと本人の状況を考え対応してください。 	✓「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーがその家族の意向を聞きご利用様のご希望に沿ってケアプランが作られている ケアマネがモニタリング時に聞き取りしている。カンファレンスを行っている。サービス提供表、支援計画書に反映されている。 サービス介入のタイミングなどは意向に沿えない場合もあるが、極力添えるよう検討・提案を状況に応じては段階的に反映させている。 表情や体調の変化をご家族様と共有しサービス提供をしている。 					
番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
26	○在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	8	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ご家族、本人が意向に沿って対応策が取られていると思います。 利用者の意向を理解して対応されている。 専門的見地から、特に家族に助言を頂きたいと考える。その点しっかりと取り組んでいると思う 介護をお願いしている家族の方は、介護ができず困っている方々ですので、その方々の意をくんで対応することを念頭に対応策を考えてもらいたいと思います。 	✓「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> 管理者やケアマネ中心となり相談を受けている現状があるが、情報共有は適宜実施できるようにしている。職員全体として関わられるようにしていく必要あり。 必要に応じてカンファレンスにて現状を利用者・家族に伝え、それに対して看護師・介護から提案をしている ケアプラン作成時家族の意向と本人の意向を確認している。 ご利用者やご家族の現状を把握し、今後の事を良く相談し、共有し合っていると思います。 リスクを想定し、対応策の検討と共有をしている。 在宅生活の継続可否について予め想定し話し合うことはあまりできていなかった。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
27	○終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	14	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師によるわかりやすい説明で対応できていると思います。 ・個々に違いますので大変だと思いますがしっかり対応されていると思います。 ・専門の見地から、特に家族に助言を頂きたいと考える。その点しっかり取り組んでいると思う。 ・事業所評価のとおり、しっかり取り組んでいると思います。看護師のご家族への寄り添いが大事なんでしょう。よくやっていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

2. 多機関・多職種との連携

(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供

① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行

番号	評価項目	9	8	2	0	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		事業所自己評価					
28	○病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している					<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組まれ円滑な移行ができていると思います。 ・ご家族の意向を聞き、対応されている。 ・しっかりとした体制があることがわかる。 ・利用者や家族の生活環境もあるかと思いますが、在宅にもどる場合の在宅での環境整備も必要になる場合があると思いますので、そのあたりの相談にも配慮されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・退院カンファレンスに参加したり、状況によってはカンファレンスを提案して退院後在宅での生活が円滑に出来るように看多機の必要な方への支援は行っている。 ・栄養指導等が出た話や病院に同席の家族から話を聞き、実行している ・利用者や家族の負担にならない様、迅速に行われていると思います。 ・施設からの情報共有・利用開始前の面談等を通して支援をおこなっている。 ・元々在宅の方が多い 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有

29	○すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	12	6	0	0	<p>・主治医から指示書により緊急時の対応方針が共有されています。</p> <p>・十分に配慮されていると思います。</p> <p>・しっかりとした体勢があり、家族として安心していられる。</p> <p>・忙しい業務の中で、情報の共有化は大変と思いますが、職員通しではうまくこなしているように見受けられます。緊急時に早い体制がとれることを常に心がけておく必要もあると思います。</p>	<p>✓「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</p> <p>✓利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</p>
<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の緊急時は訪問看護ステーションもみじ緊急携帯へ連絡、日中は管理者やリーダーに報告を行い指示を仰ぐようにしてるので出来ていると思います。 ・全ての利用者が、主治医から指示書が発行されており、必要時相談・情報共有を行ない、緊急時の対応方針を共有できている。 ・24時間体制の訪問看護が利用者に対応出来ている。指示書にて明記ある ・個人ファイルに明記されている ・不明、入職して間もないためわからない。 							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築

30	○地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	9	8	1	1	<p>・大よそ緊急時の対応ができていると思います。</p> <p>・実行されていると思います。実行されなければいけないと思います。</p> <p>・しっかりと連携がとられ、緊急の際も大変心強い。</p> <p>・主治医と緊急時に対応できる体制が整っていることは、利用者、家族からは本当にありがたいと思う。</p>	<p>✓「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</p>
<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての利用者が主治医との対応方針ができており、主治医が対応できない場合は、看護師を中心に地域の医療機関とのやりとりを行ない即時対応できるようになっている。 ・連携先の情報共有は家族とできているため、急変時そちらへ送り出すことができている ・主治医との連携で必要時は、病院への緊急搬送は行っている。または、往診により対応出来ている。 ・サ高住など、ファイル確認をしている。 ・休日等の際も、緊急時に看護師に常に繋がる様体制が作られており、何かあれば迅速に対応出来ると思います。 ・急変時の即座の対応は出来てないと感じています。 							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	5	11	3	0	<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に運営推進会議が開催されており、その都度だけでなく、情報共有が行えていると思います。 ・運営推進会議以外では包括的サポートを取り入れるための働きかけを始めることができたが、運営推進会議の構成員の担当地区が重複しているため、運営推進会議での提案はしたことがない。 ・インフォーマルを活用した取り組みは行えていない <p>・運営推進会議を通して情報共有されています。</p> <p>・実行されています。</p> <p>・今まで地域の福祉関係サポートと連携している事を知らなかったが、情報共有が行われているという事で、いざという時迅速に必要なサポートが可能だと思った。</p> <p>・地域の取り組みは、自分の親も含めて隣近所の協力に対してどれだけ関わることができるのか、個人情報等の観点から難しい面があります。普段のコミュニケーションがいかに大事かそれによって良き関係をつくっておく必要があります。隣近所でも難しい人がいます。そのなかでは、民生委員の存在はありがたいと思いますし、看護師や介護士のみなさんの支援は頼りになります。</p>	<p>✓「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画

(1) 地域への積極的な情報発信及び提案

① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		10	8	1	0		
32	○運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・議事録は一週間以内に掲示、1ヶ月以内に委員に郵送している ・会議で何が行われたか等を閲覧出来る環境が整っていると思います。 ・介護職職員間では記録の回覧が行われているが、看護師や地域など“誰でも”見ることができるような方法での発信はできていない。				・会議の議事録も郵送され届いていて共有できています。 ・実行されています。 ・議事録がきちんと示されている。 ・マザーホームの情報誌等地域の回覧等で少しでも知ってもらう取り組みだけでも行っていくことは大事と考えます。	✓「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
33	○サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	3	9	6	1	・夏祭りや広報が地域に回覧されていますので徐々に地域に啓発されていると思います。 ・施設内の1室が地域のコミュニケーションの場にもっと使用されると良い。 ・集会室を地域に開放し、地域のサークル活動などに活用されている様子。良い取り組みだと感じる。 ・広報紙等で地域に情報発信されていることは承知しています。それによって地域のボランティア活動との連携に発展していくといいと思います。	✓「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮

① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		9	7	2	1		
34	○看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・訪問看護の利用者は小児から受け入れている。利用者は100名を超えて、看多機の利用者は、全て訪問看護対象者である。 ・一体型の訪問看護ステーションもみじでは登録者以外の訪問看護を積極的に行なっている。 ・実施していると聞いたことがない				<ul style="list-style-type: none"> ・多くの訪問看護がされていると思います。 ・需要はますます増えると思いますが、実行されていると思います。 ・訪問看護は地域でも必要としている人が多いと思う。地域に貢献していると思う。 ・積極的な取り組みをされていることに敬意を表します。現在、団塊の世代の方々が高齢者になってきているため、ますます需要は増えるところですし、力を入れてやっていてもらいたいと思います。職員の数が足りないという声も聞かれますが、頑張ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		12	5	2	0		
35	○「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・喀痰吸引可能な職員が3名いる。喀痰吸引の研修を終えた職員もおり、看護師がいない場合でも、指示があれば対応可能だと思います。資格取得可能な職員には、積極的に研修参加している。 ・特定行為のできる介護職があり、更に増員するため計画的に研修に参加している。マザーホーム他事業所にも協力を仰ぎ実地訓練がスムーズにできる体制を構築している。また看護師も通い時にいる。 ・資格取得者が限られている				<ul style="list-style-type: none"> ・研修を終えた職員により充分に対応できていると思います。 ・有資格者の育成を継続頂きたいです。 ・たん吸引行為のできる介護職を増やそうとする試みに、家族として信頼感が増す。 ・専門職員の体制が整っていることからぜひ受け入れを進めていてもらいたいところです。なお、日頃の研修体制も大変と思いますが、職員の意識と熱意に期待するところです。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				事業所の視点・評価にあたっての補足		
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない			
36	○「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	4	4	7	4	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸器も用意されており、都度受け入れ可能な状態を整えていると思います 人工呼吸器の対象者はいないためわからない、受け入れ態勢ができているのかわからない。 人工呼吸器の利用者は、医療保険の為、介護保険対象者の看多機には、該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりません。 現状は対象者がおらずとも体勢がしっかり整っていることがわかる。 前段で述べたとおりです。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	事業所の視点・評価にあたっての補足	
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない			
37	○「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	12	7	0	0	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 状態変化によるサービス介入種類の変更を即座に行える体制を整えている。また、家族の来所制限もしていないため、必要に応じて通い・宿泊の場面での面会・付き添いも可能であると考え。 今年度内で実際に看取りの対応をした利用者様が3名おられた。 看取り支援が必要な利用者を受け入れていた事もあり、体制が整っていると思います。 看取りケアの研修や現場に立ち会い、場数を踏むことを積極的に行なっている 	<ul style="list-style-type: none"> 看取りの体制はよくできていると思います。 十分対応されていると思います。 看取り支援があることは、家族として本当に安心できる。最期までお世話になりたいと利用者本人も家族も願っている、今後一層必要な支援と考える。 家族との連携と信頼関係をしっかり築いていけば、十分満足した看取りは可能と思います。十分対応されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画

① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解

番号	評価項目	3	11	4	1	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
38	○管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者より説明あり。研修などを開催して理解を深めている。 ・おおよそ把握出来ていると思いますが、実際にどう関わっていくのかはいまいち理解が及んでいないため定期的に勉強する機会が必要だと思っています。 ・年度はじめに介護事業計画について話しているが、方針や計画に触れる機会がなく、支援や事業所活動との繋がりが薄いと感じる。 ・行政の発表する介護保険計画を目にする機会が無い。 				<ul style="list-style-type: none"> ・これから具体的に特性を活かして地域に構築できたらよいと思います。 ・概ね理解されていると思います。 ・わからない ・普段の自己研修の意識を職員皆さん持っていただけることですから、うまくいっていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓地域包括ケアシステムの構築方針や計画がない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開

番号	評価項目	11	8	0	0	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
39	○サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全域を対象とし看護小規模多機能のサービスが必要な利用者を受け入れている。 ・地域全体の在宅療養を支えるため積極的にサービス提供を行なっている。 ・様々な場所にサービスを提供出来ていると思います。 ・部分的な時もあるが、広く利用を推進している。 				<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に提供できていると思います。 ・対応されていると思います。 ・医療的なサービスを提供できる事業所は多くないので広い地域でのサービス提供は必要だと考える。 ・地域を市内全域に広げるのも良いと思いますが、ある程度限定したところで、きめの細かいサービス提供に力をいれることも大事だと思います。できる範囲で広げてください。(経営状況からすれば広げたいとこだと思います が・・・) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足	
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない			
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等								
40	○介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	4	10	4	1	<ul style="list-style-type: none"> これから少しずつ取り組めたら良いと思います。 対応されていると思います。 運営推進委員会がその役割の場であり意見交換がなされていると思う。 地域の関係者として、民生委員の範疇とすればいろいろ連携はとれると思います。しかし、自治会としては防災の面でどう対応していくべきか。またどうできるのかむずしいところです。 施設との連携を考えると、災害の時には、地域の要支援者の受け入れをお願いしたいところです。 	<p>「具体的な状況・取組内容」</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的な話し合いの場を設けており、都度必要な提案が来ていると思います。 運営推進会議で意見交換している。 今まで取り組めたことはなかったが、現在提案に向けて動いている。 不明です、入職して間もないため分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
41	○家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	4	9	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民に何か関わりを持てるような事ができたらよいと思います。 ・特にありません。 ・家族には、その都度介護の仕方などをアドバイスしてくれる。助言や指導などを求めれば必ず応じてくれる。 ・自治会では、近隣住民に対して、隣同士の間関係をなるべく普段から構築しておいてください。災害時には、それが「お互いに助け合う一歩につながるからです」とお願いしています。まちづくりは、都市計画だけではなく、そこに住む住民ひとり一人のつながりを大事にしていくこと。自治会としては、そのための活動を考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

【具体的な状況・取組内容】

- ・研修を行って介護力の向上をしている。介護の仕方等を教える体制が整っていると思います。
- ・家族に指導等実施し関係者全員の介護力を高めて行けるような関わりを行なっている。
- ・運営推進会議で意見交換している。
- ・不明です、入職して間もないため分からない。
- ・勉強会等地域に発進が足りない。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

Ⅲ 結果評価

①計画目標の達成

番号	評価項目	事業所自己評価		運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
42	○サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1.ほぼすべての利用者について、達成されている	7	<p>・計画目標はほぼ達成されていると思います。</p> <p>・努力されていると思います。</p> <p>・きめ細かく計画目標がたてられ、目標達成のために大変に努力して頂いている。</p> <p>・計画目標に向けた取り組みを行っていることは、十分に見てとれます。個別対応についての課題があるようですので、今後の研究が必要なのでしょうか。</p>	<p>✓「計画目標の達成」について、評価します</p>
		2.利用者の2/3くらいについて、達成されている	12		
		3.利用者の1/3くらいについて、達成されている	0		
		4.利用者の1/3には満たない	0		
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意向に向けた段階的な計画や状態安定に向けての計画は達成できていることが多い。 ・支援計画に基づいて見直し作業も含めて行っている。 ・定期的なモニタリングと担当者会議の実施、それに沿っての介護職の支援計画書の作成 ・利用者様の状況によっては目標達成ができていない時もあるが、ほぼ達成されている。 			

②在宅での療養生活の継続に対する安心感

番号	評価項目	事業所自己評価		運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
43	○サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1.ほぼすべての利用者について、達成されている	15	<p>・ほぼ全ての利用者に良い対応ができていると思います。</p> <p>・安心して利用させて頂いていますが、利用者本人だけでなく家族もケアして頂いていると思います。</p> <p>・家族、利用者本人も大変に安心していらっしゃる。今後も在宅で生活できること、それを支援してもらっていることに感謝の念を感じる。</p> <p>・家族、利用者は在宅の場合相談する人がいるだけで、心休まることもあります。ぜひ、訪問や声掛け等を継続実施してくれると安心感が得られると思います。よくやっていられると思います。</p>	<p>✓在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します</p>
		2.利用者の2/3くらいについて、達成されている	4		
		3.利用者の1/3くらいについて、達成されている	0		
		4.利用者の1/3には満たない	0		
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての利用者が訪問看護サービスを利用しており、医療が必要な状況下での在宅生活の継続はできており、不安については都度解決できるよう対応している。 ・入職して間もないためわからないが、急変時も訪問看護の対応があり安心感が得られていると思う。 ・家族、本人とも安心して利用出来ていると思う ・利用して良かったと言って頂いてる印象 			

番号	評価項目	事業所自己評価		運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
44	○サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1.ほぼすべての利用者について、達成されている	13	<p>・利用者に不安はなく安心感を得られていると思います。</p> <p>・個々の家族に寄り添い、日常の信頼関係から安心感を得られると思います。</p> <p>・在宅看取りが可能だということに大いに安心感を持つし、その経験のある職員の存在に心強さを感じる。</p> <p>・今後は、在宅での看取りが増えていくものと思われます。皆さんの取り組み等を見ているとよくやっていることが見て取れます。今後も福祉の精神で取り組んでください。期待しています。</p>	<p>✓在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>
		2.利用者の2/3くらいについて、達成されている	6		
		3.利用者の1/3くらいについて、達成されている	0		
		4.利用者の1/3には満たない	0		
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問してケアを行い、急変時の対応についてしっかりと確立されたものが存在している ・利用者、ご家族が望まれる在宅看取りを実現できるよう取り組んでいる。 ・柔軟に対応ができるため安心感を得られると思う。 ・看取りを行なった利用者家族から看取りに対する不安増大の意見はなかった。 			